

イベント参加は活動PRのチャンス!



「T・A・P 多賀城」は多賀城風ミネストローネ「タケヒロネ」を販売。そして7月14日(金)～16日(日)開催の「多賀城ピアサミット」のPRもしていました。「ピアサミット」は始まったばかりのイベントで知らない人も多いので、たくさんの人に知ってほしい」とメンバーの方はお話していました。



多賀城やあやめについてまとめたフリーペーパーを配布していたのは高校生団体「iRIS」。用意した約50部はほぼなくなりました。「学生さんたちも頑張ってるんだね」と来場した方から声をかけられていました。

夏はイベントが盛りだくさんです。みなさんはどこかに行く予定はありますか? イベントは来場・参加した方が楽しめるだけでなく、地域で活動する団体が自分たちの活動をPRする絶好の機会でもあります。今回は多賀城跡あやめまつりに出展していた団体の様子をのぞいてみました。



6月17日(土)～7月1日(土)に開催された多賀城跡あやめまつり(主催:実行委員会)



「史都多賀城観光ボランティアガイドの会」のコーナーもありました。会場から壺の碑(多賀城碑)や政庁跡が近いこともあり、ガイドの申し込みも受け付けていました。来場した方に、多賀城の魅力の一つである歴史についても知ってもらうことができました。



たがさぽも「NPOの絵本展」を出展。たくさんの方に絵本を通してNPOの活動や社会の課題を知ってもらうことができました。来館したことのない方にもたがさぽを知ってもらえるのがイベント出展の魅力です。



ヒントfrom“たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● 参加者が特定できない活動に! ボランティア行事用保険 2017年5月16日(火)掲載
全国社会福祉協議会の「ボランティア行事用保険」に新プラン! 事前に参加者が特定できない日帰り行事にもかけることのできる保険が新たにできました。

● 家族みんなで楽しく家事しよう 2017年5月18日(木)掲載
「ただいま!」って帰って来なくなる、「家族が協力し合い、創る、居心地のいい」家庭を増やすことを目指して活動しているNPO法人tadaima!をご紹介します。

● 障がいのある子どもも使いやすいおもちゃ 2017年6月8日(木)掲載
障がいのある有無に関わらず子どもたちが「共に遊ぶ」ことができるおもちゃ「共遊玩具」。手触りや音、光で遊び方や操作が分かるように配慮されています。

“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! ＊ケータイ、スマホからご覧いただけます。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します



出前します!「NPOの絵本展」

たがさぽが収集している、NPOが制作・発行に携わる絵本を持ってスタッフが伺います。これまで、あやめまつり・鶴ヶ谷児童館のこどもまつりなどの市内外のイベントや、放課後児童クラブで絵本の展示や読み聞かせを行い、多くのみなさんに楽しみながらNPOに触れてもらうことができました。日時、場所、内容などはご相談に応じますので、関心のある方はぜひお問合せください。

内 容	絵本の展示、読み聞かせなど
対 象	企業、NPO、幼稚園、保育園、学校など
費 用	無料
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)



市内外のイベントへ出展します

多賀城市高崎地区で月に一度、子どもたちと地域の大人たちが一緒に晩ごはんを囲む「高崎こども食堂 らっこ広場」。6月20日(火)、たがさぽスタッフ阿部がボランティアとして活動に参加してきました。



「こども食堂」とは？



「こども食堂」は子どもが一人でもごはんを食べに来られる場所で、宮城県内では現在約30ヵ所で開催されています。「高崎こども食堂 らっこ広場」は、代表を務める石井アケミさんの「子どもが楽しく、安心して、心もお腹もいっぱいになれる所をつくりたい」という想いをきっかけに、2016年9月にオープンしました。

とってもうれしい「おいしい!」の声

午前9時、準備スタート。今回は、約40人分の食事を作ります。まずは、調理担当の4人で大量の野菜を子どもでも食べやすいように切っていきます。壁に貼られたレシピのおかげで迷うことなく、午前11時30分には野菜の山がいくつもできあがりました。午後3時頃からはさらに4人が加わって本格的に調理に入ります。私は主にスープを担当し、途中じゃがいもを入れ忘れて慌てましたが、一緒に調理を担当した方からアドバイスをいただき無事にできあがりました。

午後4時を過ぎると、子どもたちや親子連れが次々とやってきます。子どもは2歳～小学生まで年齢もさまざま。子どもたちは、ごはんの時間まで子ども同士や大人たちと遊んでいます。待ちかねて台所をのぞぎに来る子もいました。

午後5時30分、いよいよ晩ごはんの時間。子どもたちも料理を運んだり、取り分けを手伝ってくれました。そして、「いただきます」のかけ声とともに、みんな笑顔でもりもりと食べ始めます。そしてあちこちから聞こえる「おいしい!」の声に、一日準備できてよかった、と思いました。子どもたちが帰ったあとに後片付けをして、らっこ広場の一日が終わりました。

ボランティアを終えて

一番感じたのは、関わっているみなさんの「子どもたちが安心して過ごせるように」という想いでした。調理をしていても一つひとつの作業が丁寧で、担当のみなさんの「子どもたちにおいしい食事をお腹いっぱい食べてほしい」という気持ちがこもっていました。また、苦手な食べ物があっても「食べなさい」とは言わないようにしているそうです。「そう言われて来づらくなれないように」と思っているのと、できれば自分から『食べてみようかな』って思って食べてほしい」と副代表で現場責任者の大友みどりさんは話してくれました。そういう想いが伝わるからか、子どもたちものびのび楽しく過ごしていました。

おいしいごはん、笑顔で接してくれる地域のみなさんの存在。「高崎こども食堂 らっこ広場」はまるで地域の中の大家族のような、安心できるあたたかい場所だと思いました。



- ・さわらのマヨみそ焼き
- ・新じゃがのピザ
- ・にんじんごま和え
- ・かぼちゃサラダ
- ・玉ねぎとスナッペンどうのしゃきしゃきサラダ
- ・わかめごはん
- ・旬のスープ
- ・デザート

webページもご覧ください!

高崎こども食堂 らっこ広場

検索



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやります。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>



今回ボランティアで参加した、たがさぽスタッフ阿部(中央)。ひたすら野菜を切っています。



調理ボランティアは地元の方が中心。メンバーで役割を分担し、着々と料理ができていきます。



調理以外にも、遊び担当のボランティアとして地域の方や高校生が参加しています。ごはんを待っている間に紙芝居を上演したり、ボウリングなどで一緒に遊んでいました。(撮影:橋本和さん)



お待ちかねの夕ごはん。みんなで準備したあと、楽しく、おいしく食べました。(撮影:橋本和さん)